

東京都渋谷区東1丁目32-13
ビル・ナミキ橋
電話 03-407-1192

信友会会長 大河原三平

近「老後」「高齢化社会」といった活字が特に目につき、また妙に氣になるようになりまし。現代の社会現象の中で、自分自身が人生の坂道を、頂上が見える処まで登ってきて、「老人の生き様」といったことが切実なことになってきた故でもありましょうか。

ともあれ、今しみじみと思うことは、「ボケ」の進度を極力抑え、周圀特に若い人達との間の違和感を最小限にできるように心掛け、楽

信友会の活動

一、親睦会のこと

五六年二月発行の「信友」誌上で、「趣味のすずめ」と称する特集を致しました。その効用から始まって、囲碁・つり・ゴルフ・酒・テニス・麻雀など、多岐に亘る趣味・遊戯について述べておられます。事務局ではその効用を具現しようとして、二、三のパートについて会合を試みてみました。

まだ試行の段階で錯誤も多く、ひろく一般にご案内するまでには至っておりませんが、今年も次のように親睦会の開催を考えておりますので、有志の方は事務局へご連絡下さい。

なご創立廿周年を機として、組織を整備し活潑に動き始めたいので、ご希望ご意見をお寄せ戴きたいと思います。

☆ゴルフ（各季一回 平日）

☆麻雀(春秋季) 回(土曜日)
☆コントラクト・ブリッジ
(冬季季一回 土曜日)
☆つり・囲碁(時期未定)
二、創立廿周年記念行事のこと
既に前号でもご案内したとおり、
信友会創立廿周年にむかひます、
各種記念行事を計画しております
お蔭様で貴重なご意見を承るこ
ともできましたので、これらを参考
として意義ある企画に致したいと
考えております。

五十九年二月廿五日(土)に予定
する総会及び現役と共催する懇親
会の開催。体裁を一刷新した名簿の
作成、記念誌にふさわしい「信友
特集号」の発刊。以上のほか更に
有意義な企画を練りつつあります。
詳しくは五月頃、会友それぞれに
ふさざしめします、あるが、なお行事に
ふさわしい企画、あるいはご意見
などありましたら、事務局あてお
寄せ下さいますようお願いしてお
ります。

(野口・森)

信友会の主要事業である会員名簿の作成については、いろいろ御意見もあるかと思いますが、今年度までは昨年同様の形式にいたしました。

名簿の資料源は、陸軍通電課及び「通信電子」「修親」等による退官者紹介等でありましたが、時には難解な住所・氏名等に遭遇し、最終所属の部隊に電話を入れ確認することもあります。正しい情報を速やかに入手し、基本カードを完全なものにするために、各方面各部隊の信友の皆様の大御支援をお願いします。

なお、旧臘この種資料の整理、印刷、校正等に経験豊富な会員である長谷川正生・木村儀市両君との協力を受け、信友会二十周年記念名簿の整備に着手いたしました（下川）

現在の名簿会員数 一四四六名
(昭和57年10月31日現在)

あろう。しか
を取り直して
さらに思い替
ける。何とか
して、不安で
消極的な心持
から脱却でき
る途はないの
だろうか。
そして残され
た人生を、明
く有意義に
送れないもの
だろうかと極
索するのであ
る。たゞでは
「わが身が病
むことがあつ
ても、あまり
減入ることな
く、収入が多
り生活費に減
少不足はあつ
ても、卑屈に



防衛マイクロ回線中継所（生駒）

還暦を迎えて

畀野篤郎

加えて、私もようやく還暦を迎えることになった。そこで意義ある人生の結節にあたり、来し方行く末のことを種々思い浮べた。また次第である。さて、人間は、壮年のころから、年を加えることをあまり好まなく、毎年、誕生日を祝福されても「嬉しくもなし」といふあるまいか。事実、多くなるに従い、体力も多くなるし、体力が多くなるし、といへば、よくある。そして、安穩とは必ずしも不幸な事態に見舞われず、少なくなると、かきまわすようになってくると、人生の黄昏を思うは憂鬱となり、意気がちになる。まことに

なるとなく、また、家庭のトラブルが起きても、あまり慌てた生活ぐこない……。このような生活を送れる人間になれるならば、最高の俸せでなかうかと思ひを致すのである。

さ、話がかわるが、パリには、カフェ・テラスが多く、歩道に椅子を沢山並べてある。この椅子に二人連れが腰掛けて、飲食しながら、静かに何時までも往來する人々を眺めているのである。時間を経つことなど、トンと無関心な様子なのだ。同じような情景はほかにもある。即ち、ドナウ河やラインの河辺のベンチで憩ひ、ひねもす大河の流れを眺めている老人達である。彼等の姿には、イライラしないが、身の不遇をかこつような素振りも、全く感ぜられない。また、英國人の態度についても考えさせられる面がある。英國では、既に深刻な經濟不振をかかかつてゐるのに、莫延、青少年の不良化等、幾多の問題點等の言動や態度には、少しも苦惱

昭和57年度信友会会計報告

57年11月30日現在，

取 入 (円)		支 出 (円)	
前 年 度 繰 越 金	862,215	慶 弔 費	74,280
終 身 会 費	20,000	通 信 費	1,140
計	882,215	計	75,420
残 高		806,795円	

以上のとおり報告します。

昭和57年12月1日

信友会 幹事 森岡英明 (印)

監査の結果相異ありません

昭和57年12月 1 日

信友会 監事 野村 明 (印)

総会・懇親会の御案内

信友会の十九周年を祝い、恒例のとおり、新信友会員（新通信信幹部等）の歓迎を兼ねて、19周年懇親会を実施いたします。会員の皆様の多数の御参加を希望いたします。なお、懇親会開始前に行なう定期総会は、五十七年度会計報告以外に特別な議題が無場合には省略させていただきます。いたくことがありますので、御諒承下さい。

一、日時
58年2月26日(土)一六〇〇より
二、場所
東方会館(前回と同じ)
豊島区西池袋3-21-12
電話〇三-九八七-〇二二一
池袋駅西口から徒歩約3分。西口地下道の
の、西口五差路方面出口へ出てすぐ西
南。又は地上から西口公園を横断して、
大通りの向い側。

三、会費 六、〇〇〇円（会場でいただきます）

【お願い】

○準備の都合上、出欠について、同封のがきで事務局まで御連絡下さい。

○当日、受付は非常に混雑しますので、なるべくお早めにご来場下さい。

国士館大学の信友会員

小澤昭五

「身はたて武蔵の野辺に朽ちぬとも
留置まし大和魂」
と辞世の句を残された勤皇の志士
吉田松陰をまつる松陰神社のそば
近くに、国士館大学は今から六十
五年前、前総長柴田徳次郎先生に
よって国士館義塾として創立され
ました。

以来「興國救世」の崇高な教育
理念のもとに中学校、商業学校、
専門学校、ブラジル移民のための
高等拓殖学校、さらに大陸におけ
る国士義成のため満州に鏡泊学園
を相ついで創立し幾多の有能な人
材を世に送り出しています。

戦後は、昭和二十八年に短期大
学を三十三年に新制大学として体
育学部を、ついで政経学部、工学
部、大学院、政経II部、法学部、
文学部を開設し、今や名実共に総
合大学として躍進しています。

また、ニューヨーク市に武道普
及のため本学ニューヨーク支部を
設立、更にブラジルに本学サンパ
ウロ分校を設置し、その一角に五
十七年七月武道体育館を建設して
武道スポーツの普及と日伯文化交
流を促進することになりました。

本学は創立以来、日本精神を作
興し、日本国の興隆と日本民族の
幸福を祈念し、皇室を敬い国家を
重んじ文化、伝統を守らんとする
精神の上に建学の理想を打ち建て
てきました。

教育方針として、文武両道の教
育に徹し、大学を単に知識を授け
る場とすることに満足せず将来の
日本を背負う優れた人材を育成す
ることに努力を払っています。
その成果の一端を紹介すると五
十七年八月フライングで開催され
た第七回世界学生柔道選手権大
会において全試合すべて一本勝ち
の圧倒的な強さで無差別級に優勝
した体育学部四年齊藤仁三段を始
めとして、日本のいや世界の柔道
剣道、空手、レスリング、新体操

等のチャンピオン級の学生多数が
日夜真理の探究、武道スポーツの
鍛錬に汗を流しており、その真摯
な学生の姿に接すると誠に頭のさ
がる思いであります。

さて、大学の沿革と教育方針等
について紹介しました。本学には
自衛隊OB一〇〇名以上が勤務中
ですが、そのうち信友会員の近況
を次にお知らせいたします。

先ず本学には鈴木恒雄氏を始め
十名が建学精神に燃え夫々の職域
で活躍しています。

鈴木恒雄氏は本学の揺籃時代の
昭和四十二年から本学発展のため
試行錯誤をくり返しながら施設課
長として誠心誠意、献身的な努力
を重ねられ、その基礎を確立され
今や総長の信頼を一身に受けて法
人本部総務部長としてその重責
を果されています。

また後輩の面倒見のよさでも知
られ、本学信友会員の殆んどは
鈴木恒雄氏の推薦を得て就職さ
せていただき公私にわたり御指導
を賜っています。

関口芳郎氏は総務課長補佐とし
て、入學式、卒業式等恒例行事の
ほか諸外国からの政府高官、教育
界代表団の数々にわたり来訪され
る方々の接遇一切を一手に引受け
日夜奔走し本学の威信発揚に貢献
されています。

菅谷氏氏は施設課長代理とし
て、世田谷校舎、鶴川校舎、小野
路の自動車学校、および九州太宰
府分校(武道体育館)と広範にお
たる施設の取得、建設、維持管理
に実力を発揮されており、本年七
月遠くブラジルの武道体育館の落
成式に鈴木氏、関口氏と共に参加
されました。

山田欣三郎氏は管財課管理係と
して、物品の取得、配分資産管理
に創意工夫をこらしその効率化を
図っています。

瀧正己氏は山田氏と同課で調
達係として、物品の調達管理等の
業務を推進されていますが施設課
管財課は同じ事務室であるのでド
アをあけると信友会員五名が机
を並べておりふと自衛隊時代を想
起させられることでもあります。

また、本学は他大学には見られ
ない学生主事を設け、教育方針に
則り、学生の知、徳、徳の円満な

老後五態と雑感

秋元哲雄

事務局から、何か書けとのこと
で、止むを得ず拙文を提出しまし
た。臆に落ちない点が少々あるう
かと思ひますが、何卒御寛容の程
をお願いしておきます。

日本アビオニクス(株)を停年退職
する直前、二三名の先輩から今
後の生き方及び人生の幸福とは何
かについて貴重な体験談を聞か
されました。老人とは何からを指
すのか、各人の考え方で差異があ
るの当然でしょうが、私は「老
後は自分が老人と思つたときから
始まる」と思つておりました。

では前述の体験談の要旨を書い
てみます。老後は好むと好まざる
とに拘らず、必ず次の五態の何れ
かに属することとなる。

一、個人芸能型 特殊な芸能の保
有者で死ぬまで、その能力を働
かし得る。例へば芸術家、作家
弁護士、医者、学者、技術者等々。

二、社会奉仕型 特殊な才能がな
いので、過去の経験を生かし、
人間関係を通じて恩返しを積りて
社会、国家への奉仕を喜びとする
型。

三、金権欲求型 これからは金も
名誉も権力も欲しい。余生を太
く逞しくと意欲充分の型。

四、酔生夢死型 生きて居ても、
居なくとも世の中に何等の影響
を与えない型。何から理由にか

発達を期するため正課の学習以外の
生活全般に亘る訓育指導を行つて
います。この学生主事として、政
経学部経済学科二年生を飛渡洋三
氏、同学部政治学科三年生を橋岡
秋月氏、同学部経済学科四年生を
小生が担任、毎日若き学生を相手
に充実感を味っている次第です。

以上本学の概況と信友会員の近
況について述べましたが何卒これ
を機会に皆様の御子弟、知人の方
々に本学への御推薦と本学卒業生
の就職について格別の御高配を賜
りますようお願い申し上げます。

こつて朝から杯を傾ければ人
生亦楽しと悟っている。
五、恍惚型 植物人間となり、世
の中の変化にも全く関係なく、
飯を喰ひ、呼吸をし、家族達に
迷惑をかけるが無意味に生き
る型。

次に幸福とは何かです。東西
の哲学が混在する五つの要素が取
上げられます。

一、健康 幸福に生きる為の第一
条件。然しこれに感謝する人は
数少ない。無病息災は無理
でも、一病息災位で夫々の健康
法を以て永持ちを心がけたいも
のです。

二、良き人間関係 いわゆる血縁
数多くの人達との交際が適当に
折多。利害関係から敬視され
ても程で、恨まれる様では具
合悪い。生活を快適にするには
不可欠でしょう。

三、美を愛する心 書画骨董、音
楽、風景、自然の摂理のうちに
美を見出す。これは人間のみに
与えられ特権でこの心が無い
と人間らしくない事になります。
四、ふさわしい経済力 有り過ぎ
ても、なくとも困ります。円満
な家庭生活と相応の社会的生
活の基盤となるもの。蓄え過ぎ
れば相続問題を残すし、不足で

は老人ホームにも入れないこと
となりまし。五、適当な仕事 朝起きて、今日
のやるべき仕事に気がつくこと
は幸福と言われまし。

今日何もしない事が無いので
映画かデパート廻りで閑つふし
でもしようかと永続させる苦
はないでしょう。

「頼み事は閑人にすべから
ず、多忙な人は約束事を果し
てくれる」との言と符号します。
さて、纏って私自身の場合は如
何なるかを考えました。

五態のうちで私の選べるものは
、特殊な才能とてないで第二
番目の社会奉仕型としないわけ
です。金権欲求には興味はないし
、生ある限り第四、第五の範疇には
入りたくないもの。

社会奉仕型を選んだとして、果
して幸福の五要素との関係は如何
なるかを反省してみると概ね次の
様な採点となります。

一、健康 生来頑健であ
った。骨折の入院でサイパン島
の玉砕戦に不参加は祖霊のご加
護が、強運に由るのかは分りま
せん。車を動かしてゴルフに興
じ得る体力、量は減つても適度
な食欲。然しこの二、三年來
心臓の期外収縮が若干に懸る
ので七〇点。

二、人間関係は。血縁はマア、マ
アで、義理の選挙運動もヴォラ
ンティア程度。学縁では一般
的に好まれない同窓会の幹事、
職縁の戦友会では顕彰委員で結
構多忙。同じ職縁の信友会幹事
から頼まれれば、嫌とは言えな
い性質から、この原稿書きに三
晩も苦心する始末。

決断のわるさ、評論的言動に
対する批判は甘受するとして毎日
どうやら喧嘩もしないで毎日が
暮れているので七五点。

三、美の探求。油絵は若干心得あ
るも不熱心。通信図第四科の壁
に顔を懸けた記憶が有りますが
誠にお恥しい次第。音楽はクラ
シックを楽しむ程度。自然へ
美の探求は安直な写真機でお茶

を濁すばかり。このところ暇が
ないとの理由で、探求は怠け勝
ちの五〇点。

四、経済力 親の遺産が若干あり
借地も借家も経験なし。サラリ
ーマンとしては最大の利点では
あったものの、職場の選定には
若干の支障がありました。相当
の起伏はあったものの、現在で
は週一回程度の麻雀と月二回程
度のゴルフに付合せるし、年
金で一、二回の旧婚旅行も不可
能ではないとすれば、苦しいと
は言えずに八〇点。

五、仕事は。十月月の失業保険を
頂戴している間に、サイパン慰
霊碑建立と十五榴復元のため渡
島六回。生活様式の急変で胃の
変調が二、三回。遺族の慰霊行
が漸増しつつあるので毎年六月

「貴様と俺とは……」の哀調
を帯びたメロデーは、敗戦の色
濃い前大戦末期に、勝つことを信
じ疑わなかった若者達により、戦
陣から巷へ流れ、日本人の琴線に
ふれた歌としてナツメロとなり今
日まで歌いつて来れた。

同期の桜・愚考

小田三郎

「相談ごとがあれは腹を割つて
話し合ひ、世話になつたり、なら
れたら、また、助けられたり、助
けたり、真の裸の付き合い、これ
が同期の仲なのではないだろうか。
同期生会の目的は……」などと、
変に大上段に振り上げた美辞麗句、
ビジョンを並べたとて所詮、絵に
書いた餅である。

年に一度、数年に一度の会合で
顔を合わせ、お互いの健康を喜び
今後の健康を祝し合う。これだけ
でも良いのではないだろうか。原点
に戻り、初心に帰った「ツーカー」
の仲こそ、心の豊かな仲間同志、
同期生の真髄ではないだろうか。テ
レビコマーシャルではないが、「一
生の長い友達」なのだろう。

信友会は、同期生会の大母集団
として、今後とも形式などにとら
われず、陸上自衛隊通信の同じ釜
の飯を喰つた仲間同士の心よりこ
ろとしてすくすく育ち、同期の
桜を包摂し、その枝々に咲かせる
ような大樹たらんことを期待する。

散る桜 残る桜も散る桜

おい—やあ

信友会の一員になって早くも一年、「おい—やあ」で心が通った世界から、一転して不通の社会に足を踏み入れ、ヨトヨと今日に到りました。顧みて、五里霧中、目新しい事柄の連続とも言えますが、その中で、変れないもの、「古き時代の集」は、現役時代に比較して一段と回数が増えました。日記を見ると、毎月少なくとも二回は以上は何らかの「集」があった勘定になります。

旧制中学時代の同級会
昭和五十七年は、わが組の誇りの年でもあった。建設・経企の事

会員の死に思う

廣嶋清彦
(鍼灸・指圧業)

自衛隊を退職してから早くも15年余の歳月が過ぎた。この間、前会長の平岡さんや大西健吾君その他多くの方がなくなられた。どんなに病気が原因だったのか、詳しいお話は伺ってないが、恐らく脳卒中が原因だったのか。脳卒中は戦前は脳出血(脳溢血)が多かったが、戦後は食事が欧米化した関係で脳梗塞(脳血栓)と脳塞栓が多くなっているという(こと)です。

脳梗塞や心筋梗塞は普通前駆症状がある。動脈が硬化して血管内腔が狭くなり、時々塞がってはまた通るといふ状態が繰り返される。塞がった時は血が通わないから「一時的に血液が少くなる。これを「過性虚血発作」という。脳血管に起こった場合は、食事中塞がるといふ。字を書いている時は万年筆を落す。対談中急にものをいなくなる。これが二・三分続く。歩行中でも起きたら大変だろ。

三原康功

務次官と、官房副長官の三名が私の組から生れたのである。こんなことは、全国でも珍しいのではないだろうか。級友等しくわが事のように喜び、まとめて一緒に祝う手はなからうと、念には念を入れて三回に分けて祝う。当日、会場に集るメンバーの主力は関東在住者が、何分、四十年も昔に別れたきりの級友も居るので、主賓はこの中で、古いアルバム片手にお互いの顔を確かめる光景も。そしてタイムトンネルをくぐり抜ければ「おい—やあ」……最後は校歌合唱。

士官学校の同期生会

毎月第一水曜日は「一本水」と称し、わが区隊の集合日である。都合のつく者が、三三五五、新橋の某所に集合する。今年区隊長夫妻は古都奈良で行った。区隊長御夫妻を始め、約三分の一の者が参集。まともが良いと思う。

さて、昭和五十七年度の陸士六十年生大会は、神奈川在住者の担任で座間キャンパス(相武台・陸士跡)で実施した。十月十日、約千人の来賓・同期生が集り、相武台上を圧倒、盛會裡に終ることができた。この準備のため、毎月一回、打合せと称して担当者が集まるが、メンバーには、世の中の一通りの職業が揃っている。任務分担は極めてスムーズ。会場設営・建築家、祝宴・防衛弘済会、

献血を十年続けて

八木剛

三年入れる。味噌汁にも入れめつけられるような痛みを覚える。これを「狭心症」または「心不全」といわれている。

このような状態が何回も何回も繰り返して、いよいよ本番になる。本番の脳梗塞や心筋梗塞が幸いに軽くすんで、また再発する。そして段々と悪化して行く。

このような症状の人には次のように助言することになっている。

一、肉食をなるべく減らす。「余分なコレステロールをとらないため」肉は鶏肉、魚は白味の魚とし、週に二回にする。

二、糖質(澱粉)をとり過ぎないようにする。余分の糖質は肝臓で中性脂肪に変えられる。この中性脂肪がコレステロールの余ったと一緒に動脈硬化をすすめる。甘い菓子類、ジュース、コーラ類、砂糖入りのコーヒーなどをなるべくやめる。

三、植物性脂肪(へに花油、ゴマ油、米ぬか油など)をとる。動物性脂肪は動脈硬化の主犯だが、植物性脂肪は逆に動脈硬化を減らすように働く。サラダや揚げ物に使うほか、ご飯を炊く時二・

停年を迎えて早いもので既に五年を経ました。お歳をもちまして自衛隊で得た事を生かして、充実した日々を過ごしております。又現在元所属部隊のOB会の役員等をやらせていただき、部隊を訪れる機会も少くありません。

停年後は神戸に住居することになりましたが、丁度自宅からわりと近い所に献血センターがあり、年五回まで献血できしかも日曜日にも開所している事を知りまして、そこで私の年五回の献血センター通いが始まりました。三年経過しましたが昭和五十五年には二十五回に達し、日赤から銀色有功章をいただき、栄に浴しました。更に兵庫県知事、神戸市長からも感謝状を頂戴いたしました。

献血することにより昨までは本人はもとより家族に至るまで、病氣等血液の必要な時期に容易に血液を確保できる便宜性があつたのですが、本年四月から制度の改正により誰でも血液の供与を受けられる事になり、献血による前記のような便宜はつけられなくなりました。然し血液から調査できる生化学検査の結果を知らせてくれる事になり、成人病等の判断に役立つようになり、そのよ

東部方面通信群の誕生間近か

多年の懸案

東部方面通信群が本年三月いよいよ新編されることになりました。

御承知のように、全国五コ方面隊の中で東部方面隊のみ直轄の通信群を保有していません。現在東部方面隊には、第一〇一基地通信大隊(本部・市ヶ谷)と第三〇一通信野整備隊(大宮)の二つの通信部隊がありますが、野外の通信運用は、通信団及び第一通信大隊等の支援により隊務を運営してきております。

總監の指揮統制を全うするため、他方面隊と同じく直轄の通信群の必要性が認識され、歴代東部方面總監から要望され、通信職も努力されてきた懸案事項でありました。

一方五十三年には方面總監部の改編があり通信課は廃止され、防衛部に通信班が、装備部に通信器材班が設置され、現在にいたっております。

このような状況で、東部通信群設置の必要がさらに強まり、今般新編の運びになったものと思われまふ。

編成準備順調に進行中

現在既に、陸幕、東方總監部、通信学校、通信団、市ヶ谷各部隊等、関係ある機関・部隊相互

うな状況下、我が国における血液の供給は不足しており、献血にまつこと大なるものがあるといわれ、本年に入ってから体重の重い人は倍の献血ができる事を知り、その結果現在までに四十六回の献血を記録することができました。本年度末までに五十回を達成し、社会へ少しでも貢献しようという気持で頑張りたいと思っております。

さらに年令限界の六十四才までには百回を目標に続けたいものと健康の維持につとめるつもりです。

動労先の関係会社・大阪ガス株式会社は社会貢献に対して「すざらん賞」を授与しておりますが、昨年本年春と二回の支社長表彰をいただきましたに続いて十月二十日は本社営業本部長の表彰状を受けることができました。

(57年10月記)

57年御退官通信幹部

名簿

(56年11月1日～57年10月31日)

12名

最終所属	氏名	現住所(電話)	勤務先
東北処 (57.10.22)	安藤勝夫	〒985 多賀城市丸山1-9 (02236-4-0643)	大通り振興協同組合事務所
通校 (57.5.22)	伊藤昭三	〒112 文京区千石2-14-18 (934-4466)	日本無線(株)三鷹製作所
5通大 (57.10.28)	太田静男	〒080 帯広市稲田町291-59 (0155-48-1817)	北海道データサービス(株)
東北通群 (57.7.1)	川口温弘	〒985 多賀城市丸山1-12-12 (02236-6-3964)	双葉綜合開発(株)
1通大 (57.10.6)	川路幸徳	〒176 練馬区北町5-11-14-602 (931-0218)	日本医科大学付属病院
1通大 (57.10.12)	穴戸善也	〒176 練馬区練馬2-28-13 (982-3186)	東京音楽大学
北通群 (57.10.18)	篠塚英俊	〒064 札幌市中央区南15条西9 丁目11 (011-521-1603)	
通校 (57.7.1)	中江正夫	〒235 横浜市磯子区磯子町 字谷838 レインボーハイツ 3-3-302 (045-753-8377)	日本電気(株)
通校 (57.7.15)	長山照雄	〒353 志木市館1-1-8-402 (0484-71-2251)	安田火災海上保険(株)
通校 (57.4.1)	福岡秋月	〒238 横須賀市森崎4-9-10	国士館大学
通校 (57.7.1)	三ツ矢昭義	〒270 松戸市常盤平2-1-7 (0473-88-7182)	国際電気(株)
通校 (56.12.28)	三原康功	〒235 横浜市磯子区磯子3-13 サンパレス磯子302 (045-755-2841)	穂高通信工業(株)

信友会員の叙勲

57年度

晴れの叙勲、心からお祝い申し上げます。

- 〔春〕 勲三等旭日中綬章
久保田 茂 元 中部方面総監・陸将
(通信学校校長経歴)
- 〔秋〕 勲三等瑞宝章
三 岡 健次郎 元 第9師団長・陸将
勲四等旭日小綬章
武田 照彦 元 通信学校校長・陸将補

訃報

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

氏名	御逝去 年月日	御遺族住所
河合秀男	57.3.11	〒183 府中市天神町4-1-40
菅野正年	57.3.27	〒121 足立区花畑5-9-13-403
恵羅嘉男	57.4.14	〒167 杉並区荻窪3-12-6
木原十三郎	57.4.27	〒899-86 鹿児島県曾於郡末吉町深川6511
森田正浩	57.10.7	〒112 文京区春日2-12-1
明用信興	57.7.19	〒893-16 鹿児島県肝属郡串良町岡崎2598-1

本年三月二十四日、通信科の皆様が永年待望していた東部方面通信群が新編されます。この状況は前ページに記載されていますが、細部は省略しますが、群規模の技術職種部隊の新編は最近では希なほどの大事業であり、通信科OB皆様の御支援、御協力によるものと私共深く感謝している次第です。

一、待望の 東方通信群 新編される

(一) 防衛マイクロ回線
昨年末の十二月二十四日健康駐屯地において防衛マイクロ回線通信の開通式が西方総監をはじめと陸幕等多数の関係者の参席のもと盛大に挙行了されました。これは通信科OBの皆様の永年におわたる御努力により昭和五十二年に着手された防衛マイクロ回線が北は北海道から本州を縦断し南の九州にまで展開した画期的な大事業でありました。

二、防大回線 日本縦断す

昨年夏の七月一日付で防大一期生から初の将官が誕生しました。先日も札幌近郊の弾丸道路を車内走行中の北方通信群長から電話がありました。これにより、皆様が永年待望していた「基地と野線の一体化」の一部が実現されたことになりました。

三、防大一期生初の 将官誕生す

現在その他の通信科出身の将官としては第九師団長の松浦昇陸将、通信学校校長松本二郎陸将、通信団長加茂敏夫陸将補及び通信補給処長山正吾陸将補の方々がおり、通信電子部門も含め広い分野で陸上自衛隊の先達として活躍中でありました。

四、定年延長施策進む

さて最近、陸上自衛官の定年延長施策が三年計画で実行されております。例えば、二等陸佐以下の幹部自衛官の定年は本日現在五十二才にまで延長されており、次いで五十八年度においては昭和六四年四月一日以降の二等陸佐以下の幹部自衛官は、その定年が五十三才になります。一等陸佐の定年はすでに五十三才から五十四才に延長されております。

五、定年延長施策進む

このため、五十七年から五十八年度にかけて定年退職者数が極端に減っております。その反面、五十九年以降は別期幹部自衛官数の増大とあわせて停滞していた定年退職者が一挙に出るの、第二の人生就職支援には多くの困難が伴うと思います。そのピークは六十年程度と予想されますので、この面におきましてもOB皆様の温かくかつ積極的な御支援・御協力をお願い申し上げます。



陸上通信
トビックス
磯部 孝

信友会員となるための 手続

信友会は、陸上自衛隊通信科職種として在籍した幹部自衛官(幹部相当事務官を含む)のOBの親睦を目的とした会です。

入会手続は簡単です。入会を希望し終身会費(五、〇〇〇円)を事務局に納めていただければ正会員として登録いたします。

終身会費の納入は、信友会事務局に送金(郵便為替等適宜の方法)でするか、または、年一回通常二月に開催する総会・懇親会に参加してその場で支払うか、どちらでも結構です。

機関紙「信友」の次号(第五号)は、信友会の創立二十周年を記念し、増ページして、特別号とする予定です。

会員だより

会員皆様の短信をお寄せ下さい。

「あ、あの人は相変らず元気なんだな、とお互いに消息を知り、懐かしめるよう、できるかぎり多くの会員のたよりを載せたいと思います。」

これは短かくて結構です。近況、所感など内容は問いません。お気がるに、はがきを一枚、送って下さい。

随筆、趣味・健康の話など少し長文の記事も募集します。皆様は、自衛隊退官後、それぞれの方面に第二の人生を

「信友」第四号をお届けいたします。ささやかな機関紙ですが、会員同志を結ぶ絆の一つになればと思つて編集しています。

編集で一番大変なのは記事を集めることです。文章を書くという

ことは非常に億劫なものです。本号掲載の筆者の方々には、皆、心よく書いていただき、深く感謝し

ております。面白く、また有益な記事を有難うございました。

会員の記事による気軽な機関紙とするため、皆様の御協力をお願いいたします。特に次号特別号ではできる限り多くの会員の、自主的な御寄稿を期待いたします。

なお本紙の編集等については、

創刊以来特に陸幕通電課及び通信

団の多大の御支援を受けていること

を御報告いたします。(依田)



原稿募集

原稿の長さは、四〇〇字詰用紙で一応三枚(七枚位)としますが、あまりに長くないで、これより長短あつて結構です。

募集期間は、今から五十八年十月末までとします。日があつたと忘れてしまつてしまうから、早速書き出すようにして下さい。

前記のはがき及び原稿用紙の送り先は、次にお願います。

〒150 東京都渋谷区東一丁目三十一番三

ビルナミキ橋三三三三

信友会事務局